



1月1日 氷川神社新年隆盛みこし



2月24日 ありがとう朝日小学校実行委員会主催「冬のミニ運動会」



2月26日 新規就農者激励会



4月22日 町商工会青年部が認定こども園ド・レ・ミに鯉のぼりを飾り付け



5月12日 字西泊津で町内では22年ぶりとなる埋蔵文化財発掘調査が始まる

# 2025

## 1月

- 12日 「令和6年度新冠町教育賞・教育奨励賞表彰式」が開かれ、教育賞4名・1団体、教育奨励賞2名・3団体が表彰される。
- 12日 「令和7年新冠町二十歳を祝う式典」が挙行される。終了後、参加者は学校の計らいにより、町内の小中学校を訪問する。

## 2月

- 13日 町商工会が16日までの4日間、全国各地の大学生を招き、町内の小中高生と交流する事業を実施する。

## 3月

- 3日 シミズデイリーファーム（字明和）が全国自給飼料生産コンクールで農林水産省畜産局長賞を受賞する。
- 5日 温室効果ガス排出量実質ゼロの実現を目指し、鳴海町長が新冠町ゼロカーボンシティを宣言する。
- 10日 町と医療法人徳洲会が、日高徳洲会病院立地に関する協定を締結する。

## 4月

- 20日 2期8年ぶりの新冠町長選が行われ、新人2名が立候補し、「山本まさつぐ」氏が当選する。
- 29日 令和7年春の叙勲者が発表され、町内からは山藤雄一さん（字本町）、東義海さん（字節婦町）、田外清さん（字西泊津）、渡邊研史さん（字節婦町）の4名が受章される。
- 29日 S T Vラジオが昭和100年を記念した特別番組をレ・コード館から公開生放送する。

## 5月

- 1日 山本政嗣町長が就任する。「次世代（あした）につなごう ふるさと（新冠）の未来」の実現を目指して、新体制での町政運営が始まる。
- 9日 「広報にいかっぷ」通算700号を発行する。
- 17日 新冠民族文化保存会が大阪・関西万博でアイヌ舞踊を披露する。

## 6月

- 10日 フィリピン政府のドローン関連強化の一環として、朝日の森に事業所を構える株式会社mmガードが、新冠町でフィリピン人対象のドローン研修を開催する。

# 新冠町 あんなこと こんなこと

## 7月

- 15日 町と町内3郵便局が、町内郵便局を町が指定するクーリングシェルターとする協定を締結する。
- 30日 カムチャツカ半島付近での巨大地震により太平洋沿岸に津波警報が発表され、新冠町では最大722人が避難する。

## 8月

- 19日 町観光協会が、道の駅にA Iを活用した観光案内システムを導入する。

## 9月

- 8日 法政大学が11日までの4日間、町内の生産牧場などでサラブレッド産業に触れるフィールドワークを実施する。
- 21日 新冠ほくと園が今年から会場を「えましあ駐車場」に変更して「ふれあいフェスタ」を開催する。
- 28日 町が、令和7年度に開通予定の日高自動車道「厚賀IC～新冠IC」間で開通前イベントを開催する。

## 10月

- 15日 町は公共交通バス「メロディー号」および「西新冠地区予約運行方式」に代わるA Iオンデマンドバス「メロディー号」の実証運行を始める。

## 11月

- 3日 令和7年秋の叙勲者が発表され、町内からは浅沼伸也さん（字大狩部）が受章する。
- 3日 「令和7年度新冠町功労賞・善行賞贈呈式」が行われ、町の発展、振興に寄与された8名・1団体が表彰される。
- 6日 故・関口幸洋さん（字東町）の叙勲が発表され、日高中部消防組合消防署新冠支署で叙勲伝達式が行われる。
- 28日 庄司一也さん（字太陽）が、みついし牛枝肉共励会で最高賞にあたる名誉賞を受賞する。なお、同賞を新冠町民が受賞するのは13年ぶりとなる。

## 12月

- 8日 青森県東方沖を震源とする地震により太平洋沿岸に津波警報が発表され、新冠町では最大で641人が避難する。

★掲載した出来事は広報「にいかっぷ」から抜粋しました。



7月12・13日 第29回ふるさと祭り



8月9日 町青年団体連絡会議主催「にいかっぷふるさと盆踊り」



8月25～29日 東京大学が新冠町を拠点に軽種馬産業フィールドワークを実施



9月28日 (有)コスモビューファーム生産「ウインカーネリアン号」G1制覇



12月6日 町青年団体連絡会議主催「イルミネーションフェスタ2025」